コミュニティ福祉学会
第 17 回年次大会

“まなびあい”

「地域の居場所を支えるのは誰か？」

2024.11.23. Sat.

10:30−18:45

場所　立教大学　新座キャンパス

プログラム

■ 万博ブース	10:30～15:30
■ 分科会	13:00～14:45
■ 総会・第 10 回研究実践奨励賞受賞式	15:00～15:30
■ シンポジウム	15:30～17:00
■ 交流会（コミ福万博出展）	17:15～18:45

主催　コミュニティ福祉学会　Tel.　048-471-7308
コミュニティ福祉学部　Mail. cchs@rikkyo.ac.jp

大会について

2008 年より毎年行われている「まなびあい」が、今年度も開催されます。
今年度は「地域の居場所を支えるのは誰か？」というテーマで、シンポジウムを行います。
「地域の居場所づくり」の取り組みに着目して、実際に現場で活躍されている社会福祉協議会の職員、および新座市で子ども食堂等を運営されている団体の代表者にお越しいただき、具体的な活動内容、運営方法等をお話いただきます。
その他、「分科会発表」「万博ブース」などの学生が発表する企画もたくさんありますので、是非、お気軽にご参加ください。

■プログラム

時間	内容	会場	
12:30～	受付開始	N431 前	10:30 ～15:30 万博ブース 会場 4 号館 2･3F 廊下 （※詳細はP.5ページ）
13:00 ～14:45	分科会（※詳細は P.3～P.4） 自由演題発表が各会場にて行われます。	N333 N432 N433 N434	
15:00 ～15:30	総会 第 10 回研究実践奨励賞受賞式 （学会誌『まなびあい』第 16 号掲載作品から選出されたものです。）	N333	
15:30 ～17:00	シンポジウム（※詳細はP.6 ページ） テーマ 「地域の居場所を支えるのは誰か？」 シンポジスト 山中 大輔 氏／コミュニティ福祉学研究科前期課程修了 （社会福祉法人大田区社会福祉協議会 職員） 大内 巌児 氏／まぜこぜたい 代表 （新座市にて、みんなで作ってみんなで食べる「まぜこぜ食堂」等を主催） 司会 西田 恵子／コミュニティ福祉学部福祉学科 教授	N333	
17:15 ～18:45	交流会（コミ福万博出展） St.Paul's Cafe（こかげ）	4 号館 1F	

■分科会 （各発表 15 分、質疑応答 7 分程度） ※敬称略

会場	時間	発表形式・所属・発表者	発表タイトル
N333 司会・コメンテーター 上林先生	13:05 ～ 13:30	＜団体＞ 福祉学科 2年生 ①石渡 友梨、②石井 澄佳、③谷崎 咲楽、④藤本 陽煌、⑤玉城 丈司	「デジタル媒体が与える児童の発達への影響」
	13:30 ～ 13:55	＜個人＞ コミュニティ政策学科 4年生/藤井敦史先生 武田 彩	「子どもの『居場所支援』について考える」
	13:55 ～ 14:20	＜個人＞ 福祉学科 4年生 谷口 智朗	「子どもの福祉に関心を持つ全国の若者が集うコミュニティ『子ども福祉大学』の取り組みについて」
	14:20 ～ 14:45	＜団体＞コミュニティ政策学科/上林先生 ①鬼柳 陽己、②堀切 彩光、③下河邊 大貴、④高橋 采奈、⑤森下 夏月、⑥荒川 陽菜、⑦米本 あかり、⑧小山 七未	「地方自治体の子ども政策、多様性多文化共生政策」
N432 司会・コメンテーター 佐野先生	13:05 ～ 13:30	＜個人＞コミュニティ政策学科 4年生/濵田先生 児島 莉奈	「労働において時間的自由を求めることは生活の安心を諦めることか」
	13:30 ～ 13:55	＜個人＞コミュニティ政策学科 4年生/濵田先生 小堂 佳波	「夫婦間におけるケア労働分担と性別役割分業」
	13:55 ～ 14:20	＜団体＞スポーツウエルネス学科 3年生/佐野先生 ①池口 祐可、②末田 みこと、③村井 璃音	「体育の『男女共習』を再考する―文献検索から得た知見をもとに―」
	14:20 ～ 14:45	＜団体＞スポーツウエルネス学科 3年生/沼澤先生 ①相澤 拓摩、②石塚 心、③若野 紘弥、④小山 海音、⑤越川 陽菜、⑥庄司 凛花	「MBTI を活用した効果的なスポーツ指導の新しいアプローチ」

会場	時間	発表形式・所属・発表者	発表タイトル
N433 司会・コメンテーター　濵田先生	13:05 ～ 13:30	＜個人＞コミュニティ政策学科　4年生/濵田先生 李　佳俊	「在日外国人の法的社会的扱いについてのアイディア」
	13:30 ～ 13:55	＜個人＞コミュニティ政策学科　4年生/藤井敦史先生 厳　周元宸	「中国人移民女性の社会参加とエンパワメント：集住化コミュニティの役割」
	13:55 ～ 14:20	＜個人＞コミュニティ政策学科　4年生/藤井敦史先生 高木　裕人	「若者のライフキャリア探索とコミュニティ―コミュニティエンパワーメントの観点から―」
N434 司会・コメンテーター　武者先生	13:05 ～ 13:30	＜個人＞コミュニティ福祉学研究科　修士課程1年/武者忠彦先生 東　大陽	「関係人口としてのクラインガルテン利用者―松本市奈川地区を事例に―」
	13:30 ～ 13:55	＜個人＞コミュニティ政策学科　3年生/阪口毅先生 朝香　七海	「アルザスを例とした国境地帯の言語的アイデンティティについての考察」
	13:55 ～ 14:20	＜団体＞コミュニティ政策学科　4年生/藤井敦史先生 ①稲村　日鞠　②西原　なつみ ③津江　菜々美　④熊谷　菜々子	「連帯の力で創る、持続可能な地域社会-無茶茶園の事例より-」
	14:20 ～ 14:45	＜個人＞福祉学科　4年生/藤井敦史先生 齋藤　ののか	「日本における有機栽培の可能性について」

■コミ福万博

「コミ福万博」は、ボランティア団体やサークル(インカレ含む)、NPO 団体などのリーダーを務めるなど、地域社会のために楽しみながら精力的に活動するコミュニティ福祉学部の学生が集い、互いに語り合い、学部生・院生・卒業生の交流を促進させることを目的としたイベントです。2 回目となる今年度は出展者・参加者相互のコミュニケーションを重視したブース出展を中心として展開します。

常設ブース（4 号館 2・3F 廊下 10:30～15:30）

各出展者・団体の紹介ブースです。気になる活動について話を聞いたり、参加者同士で交流したりできる場です。ぜひお気軽にお立ち寄りください！

交流会（4 号館 1F セントポールズカフェ 17:15～18:45）

交流会に参加する各出展者・団体から、活動についてご紹介する時間を設けています！

＜出展者・団体＞ （全 8 ブース・順不同）

活動の詳細は、常設ブース・交流会会場で配付する「コミ福万博」パンフレットをご参照ください！

活動名・団体名（出展代表者氏名）
#活動に関するキーワード

居場所作りプロジェクト（竹内 美波）
＃子どもの居場所 ＃孤独解消
＃コミュニティ

学生団体セントリベル（岩佐 星流菜）
＃好奇心 ＃自己実現
＃中学生～大学生

チアアップ彩たま（浦松 晶）
＃学習支援 ＃小学生～高校生
＃川越市 ＃子どもの居場所

りつろぐ（渡邊 香穂）
＃対話の場づくり ＃ゆるもやおしゃべり！
＃大学生

学生団体 peace&voice（小林 友香）
＃戦争経験者 ＃語り継ぐ
＃高校生～大学生

立教大学 立川プロジェクト（米山 大雅）
＃立川・大山団地 ＃孤独死ゼロ
＃地域コミュニティ ＃フィールドワーク

一般社団法人 COAs（高木 裕人）
＃若者 ＃キャリア ＃コミュニティ

NPO 法人 good!（中村 文香）
＃初心者歓迎 ＃海外ボランティア
＃農業ボランティア

※NPO 法人 good!は常設ブースのみの出展です

■シンポジウム　(N333 教室　15:30～17:30)

テーマ「地域の居場所を支えるのは誰か？」

内　容：今年度は「地域の居場所づくり」の取り組みに着目して、フロア一体となって地域の居場所について考えます。
シンポジストには、地域の居場所支援に関わる卒業生の社会福祉協議会職員と、新座市を中心に居場所づくりと運営に関わるボランティアの代表のお二方をお招きして、具体的な活動内容、運営方法、ご自身の活動への関わり方・働き方、活動の持続可能性に向けた課題や工夫などについてお話しいただきます。
シンポジウムの後半では、参加者同士のグループワークを行い活発な交流ができる場を用意しています。Google フォーム等を用いてグループワークの意見を集約したうえで、シンポジストとディスカッションを行います。
地域の居場所について、そしてこれを持続していくことについて、我が事、自分事として一緒に考えてみましょう。

＜シンポジスト＞

山中　大輔　氏　／　コミュニティ福祉学研究科前期課程修了
（社会福祉法人大田区社会福祉協議会　地域福祉コーディネーター大森地区担当）
社会福祉士、介護支援専門員、アート・コミュニケータ「とびラー」12 期、大阪ボランティア協会「ウォロ」編集委員。
立教大学コミュニティ福祉学部コミュニティ福祉学科卒業（2007）、立教大学大学院コミュニティ福祉学研究科コミュニティ福祉学専攻博士課程前期課程修了（2009）。
修了後から現在まで複数の社会福祉協議会で勤務。重層的支援体制整備事業の地域づくり事業で、住民のみなさんと地域課題の解決や地域の居場所づくりに取り組んでいる。
最近の関心はアートと福祉の連携。

大内　巌児　氏　／　まぜこぜたい　代表
（新座市にて、みんなで作ってみんなで食べる「まぜこぜ食堂」等を主催）
社会福祉士、保育士、防災士。
2016 年 10 月、自身の 3 人のシングルファーザーとして苦しんだ経験と相模原障害者殺傷事件をきっかけに「多世代みんなで作ってみんなで食べよう！」をコンセプトにした「まぜこぜ食堂」を開始。現在、集まってきて下さるまぜこぜボランティアと共に、楽しく無理なく、子ども食堂、素人野菜つくり、フードパントリー、防災イベント、自主上映会、地域イベントのボランティアなど実施している。

＜司会＞

西田　恵子　／　コミュニティ福祉学部福祉学科　教授

ご不明な点につきましては、事務局にお問い合わせください

立教大学　コミュニティ福祉研究所内
コミュニティ福祉学会運営委員会事務局
Tel : 048-471-7308　　Mail : cchs@rikkyo.ac.jp